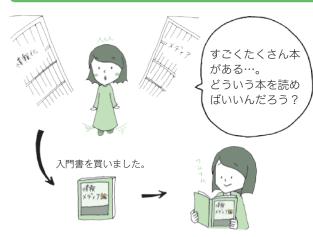
## **②**本を読んで情報を集める



最初の1冊は、比較的短時間で基本的な知識を得られる 「入門書 | や「新書 | がおすすめです。巻末に「参考文 献」がついていれば、より詳しい本を探すときの手がか りになります。



インターネットは情報が整 理されておらず、信頼性の 低い情報もまじっています。 情報が整理された本を足が かりにする方が確実です。

## ③疑問や発見から「問い」をたてる

疑問に思ったところや発見したことをメモしながら読み. そこから自分なりの「問い」を設定しましょう。「問い」 はあなたの問題意識であり、レポートの核になります。



スマホなどのメディア機器を介した コミュニケーションでは確実な情報 伝達が難しい。





でも,どうして 誤解が生じるん だろう…?





## 4 「問い」の答えとなる「主張」を予想する

「問い」をたてたら、その答えを考えましょう。その答 えが「主張」となります。最初は「○○だからじゃない かな」ぐらいの漠然としたものでかまいません。



電話やチャットでやり とりするときって、直 接会って話すのとはだ いぶ違うよね…。

どんなツールを使用するかによって やりとりできる情報が違うのかな。 伝えたと思っていることが実際には .伝わっていないのはこのせい?

「主張」の予想



## ⑤「主張」を裏付ける「根拠」を集め、主張を決定する

ほかの本や論文などの資料にあたって根拠を集めながら、 漠然とした主張を、はっきりした主張にしていきます。



誰かに何かを伝える際、自 分の視点と他者の視点のず れを調整する必要がある

2冊目の本



相手の表情が分からないと, その「ずれ」に気づけない!





ごく限られた情報でコミュニ ケーションをしているんだ!



主張に根拠がないと感想文 にしかなりません。

**46** 第 I 部 大学牛のスタディ・スキルズ

発見